



SANSHIN GROUP  
Monthly Report on the ESG  
Sep. 2025

# INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

# TOP MESSAGE

中国大手不動産開発会社の恒大集団が過剰な借入と不動産バブルの影響で債務不履行に陥り、世界最大級の企業債務を抱え破綻しました。この企業の破綻は、中国国内だけでなく、世界経済にも深刻な影響を及ぼし、特に中国では家計資産の約7割が不動産に依存しており、資産価値の下落が消費意欲を大きく減衰させています。

弊社グループの受注を見てもわかるように、中国のマンション等の新規建設が大幅に減り、エアコン等の電源に使用しているT-PROトランス、半導体等、中国市場の落ち込みが目立ちます。また、不動産関連企業でのレイオフや給与カットが広がり、雇用への打撃も深刻となっており、更に世界経済へも波及しており、恒大が抱えていた約50兆円という巨額債務は、海外投資家にも影響を与えている状況です。

恒大の破綻は、単なる企業の倒産ではなく、中国経済の「転換点」とも言える出来事であるように思えます。

三新電気香港有限公司  
代表取締役総経理 兼 C.O.O.  
新井 晶

# グループ社員による今月のつぶやき

## SANSHINEast

朝の散歩やジョギング中に、落ち葉や小さなゴミを拾う人が増えています。地域の公園や川沿いの美化活動は、身近な自然を守る小さな一歩です。子どもと一緒に参加する家庭もあり、遊びながら環境を学べる活動として注目されています。こうした日常の工夫が、地域全体の環境意識向上につながっています。(Y.Y.)

## SANSHIN Hong Kong

HKでは、野生動物、例えばイノシシや猿等が街に降りてきて餌をあさっている姿をよく目にする。私の場合は、牛が道路を歩いているような田舎の為かもしれないが、政府からかってに餌をあげたりしないよう正式にアナウンスが昨年後半に出ている。また罰金も最高HKD5000とかなりの金額である。これらは鳩や野良猫等にも適用されている。皆さんもHKへ旅行で来る機会があれば、気をつけてください。(A.A.)

## CSI

以前のセブは街灯も少なく、暗い道でした。現在は街灯も増え、商業施設やホテル等が立ち並びます。以前と比べ治安が良くなったと再認識する今日この頃です。道路状況も拡張工事等、改善されてきました。渋滞も改善された様に思います。(K.S.)

## SANSHINWest

全国各地で熊が出没することが増えています。2000年代に入り秋に熊が出没することが増え、その理由はどんぐりが凶作になるからだといわれているそうです。近年暑さなどの異常気象により森の食糧が不足し、人里に食糧があることを知りおりてきています。熊と遭遇した時の適切な対応を知り、また市街地へ引き寄せない対策を取り適材適所の生活を送ることができるように願います。(Y.A.)

## SHINKOWA

9月も半ばになりましたが、まだまだ日中の気温が30℃以上ある日が続いています。熱中症や日頃の疲れもありますので体調管理に気を付けていきましょう。これからは台風のシーズンにもなりますので大雨での停電・河川の氾濫などに対しても準備を忘れない様にしていきます。(M.N.)

## SC2

【嵐】9月の東京ではゲリラ豪雨や落雷、竜巻等の被害がありました。被害を大きくする一因には設備の老朽化もあるようですが、昨今流行の「ふるさと納税」で税金が地方に流れ、税収が減って設備投資に苦心する市区町村もあるそうです。返礼品が送られてくるのは嬉しいものですが、肝心の自分の町でマンホールの蓋が吹っ飛んだり道路が陥没しないよう、ちょっと考えなきゃなあと思います。(M.I.)

# ESG Report (品質)

# サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

# 品質への取り組み

## 要因分析

<品質管理の基本である5M>  
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、  
Man (担当者)、Measurement (計測)

## 段取り

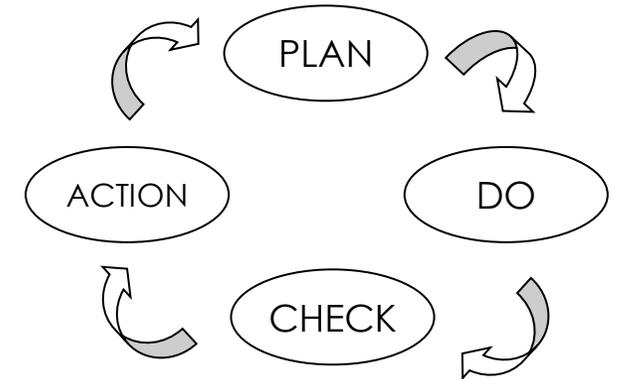
<仕事の段取り5W3H>  
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)  
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

## 行動

<製造の基本である3現主義>  
現場、現実、現物

## 管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/隔月)
- 定期監査の実施。(1回/1年程度)

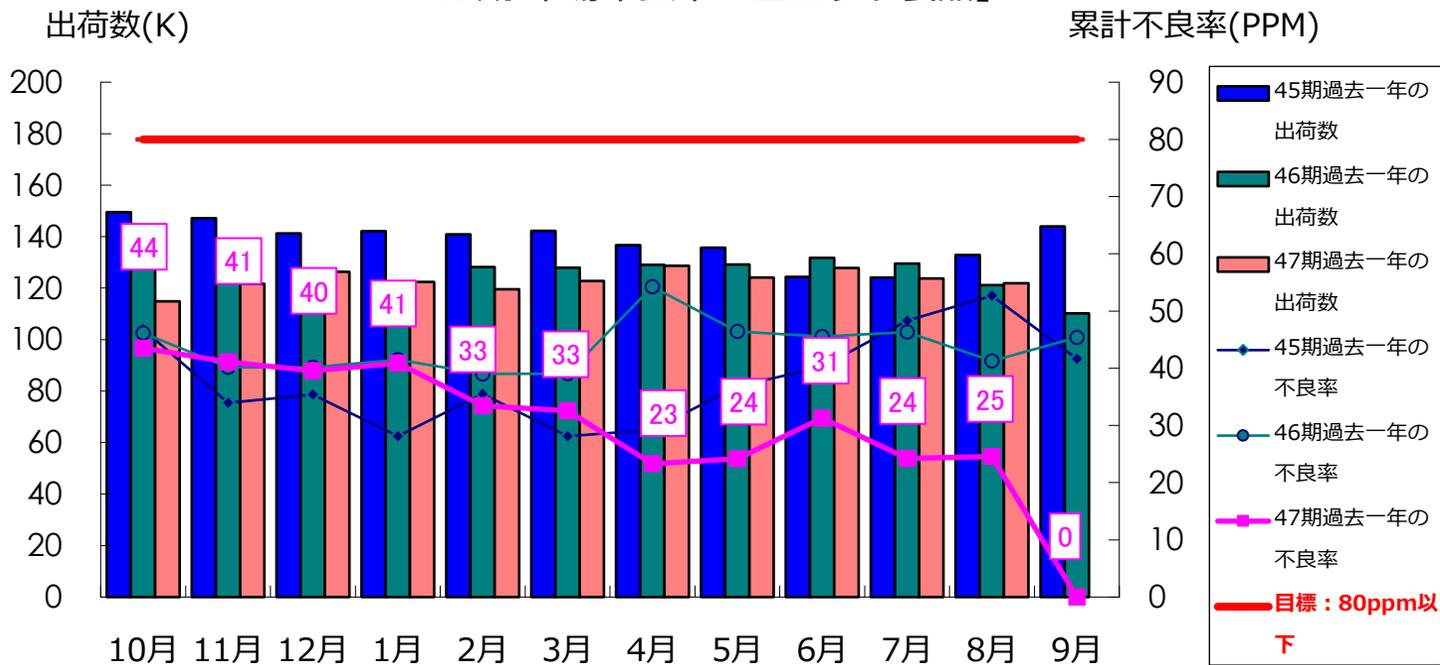
\* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

# 品質状況

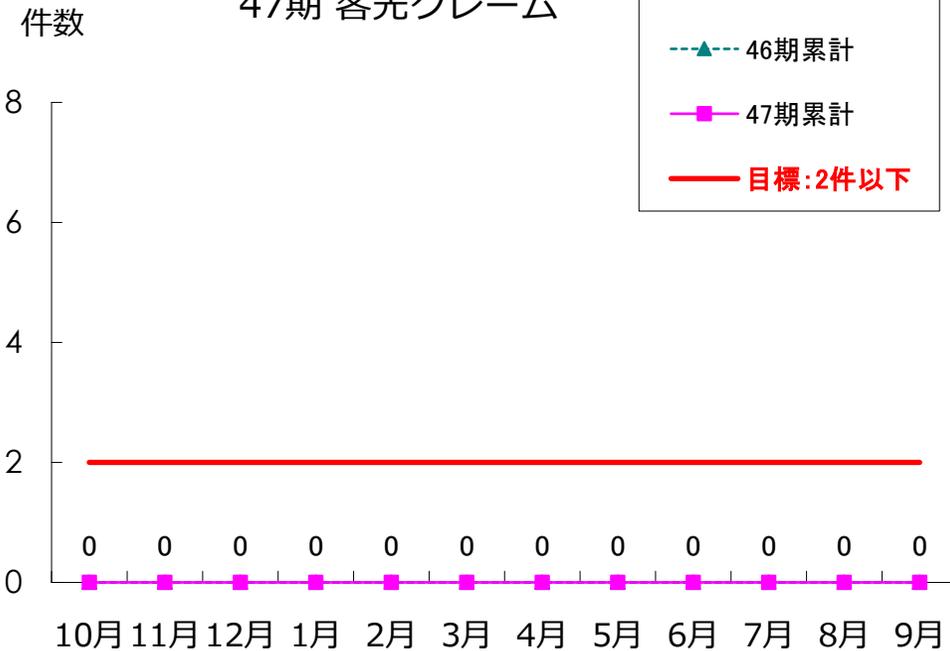
納入品不良率 (目標 : 80ppm)  
 47期の累計不良率(解析依頼含む) : 25ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件

### 47期 市場不良率「ユニット製品」



### 47期 客先クレーム



# ESG Report (環境)

# TOPICS

## □ 魚の旬を味わうことは、環境を守ること

魚には「旬」があります。旬の魚はその時期に脂がのり、最も美味しく栄養価も豊富です。さらに水揚げ量が多いため価格も安定し、消費者にとっても生産者にとってもメリットがあります。日本の食文化は四季折々の旬の魚とともに育まれてきました。

### ◆ 魚の旬とは？

私たちの食卓を彩る魚には、それぞれ「旬」があります。旬とは、その魚が最も豊かに獲れ、栄養が増し、味わいも深くなる季節のことです。例えば春にはサワラやイサキ、夏にはアジやスズキ、秋にはサンマやサケ、冬にはブリやタラ。昔から日本人は、季節ごとの魚を上手に料理に取り入れ、健康と生活の知恵にしてきました。しかし、旬を意識することは単なる「美味しさ」だけにとどまりません。実は、自然環境や水産資源の持続性にも深くつながっているのです。



■北海道の海産物の旬はいつ？約20種類の魚介類味覚カレンダー

# TOPICS

## ◆ 旬を意識するメリット

旬の時期に獲れる魚は、自然と群れが大きく、漁獲効率も高いため、資源を減らしすぎずに獲ることができます。これは水産資源を守りながら利用する「持続可能な漁業」の考え方に直結します。さらに、旬の魚は地域の港や市場に多く出回るため、地元で消費すれば輸送距離が短くなり、輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出の削減にもつながります。つまり「旬の魚を食べること」は、環境にやさしい選択肢でもあるのです。

## ◆ 気候変動と旬の変化

近年の気候変動は、魚の生態や旬の時期にも影響を与えています。海水温の上昇により、サンマの漁場は北に移動し、漁獲量が大幅に減少。一方でブリは暖かい海域にも生息できるため、かつては少なかった地域でも豊富に獲れるようになってきました。こうした変化は、単に魚の「食べ頃」がずれるだけでなく、私たちの食文化や漁業経済にも大きな影響を与えています。

旬の魚を意識することは難しいことではありません。食卓や社員食堂のメニューで、季節ごとに旬の魚を楽しむ工夫ができます。例えば秋にはサンマ、冬にはブリ、春にはサワラ、夏にはアジなど、日本各地でおなじみの魚が揃います。旬を味わうことは、私たちの健康や食文化を豊かにするだけでなく、海の資源を守り、持続可能な社会にもつながっています。

# TOPICS

## ◆ 旬を楽しむ = 環境への小さなアクション

私たちができる身近な取り組みの一つが「旬を意識して魚を選ぶ」ことです。例えば、家庭での献立を旬に合わせて変えるだけで、資源保護や地産地消に貢献できます。

### ・季節ごとのおすすめ料理

春：サワラの西京焼き、タイの桜蒸し

夏：アジの南蛮漬け、カツオのたたき

秋：サンマの塩焼き、サケのちゃんちゃん焼き

冬：ブリ大根、タラの味噌鍋

などなど...

このように旬の魚を使った料理は、栄養満点で美味しいだけでなく、自然と環境配慮にもつながります。

「旬を味わう」という昔からの知恵は、持続可能な社会づくりに通じています。魚の美味しさを楽しみながら資源を守る。それは難しい取り組みではなく、日常の食卓から始められる小さな環境アクションです。

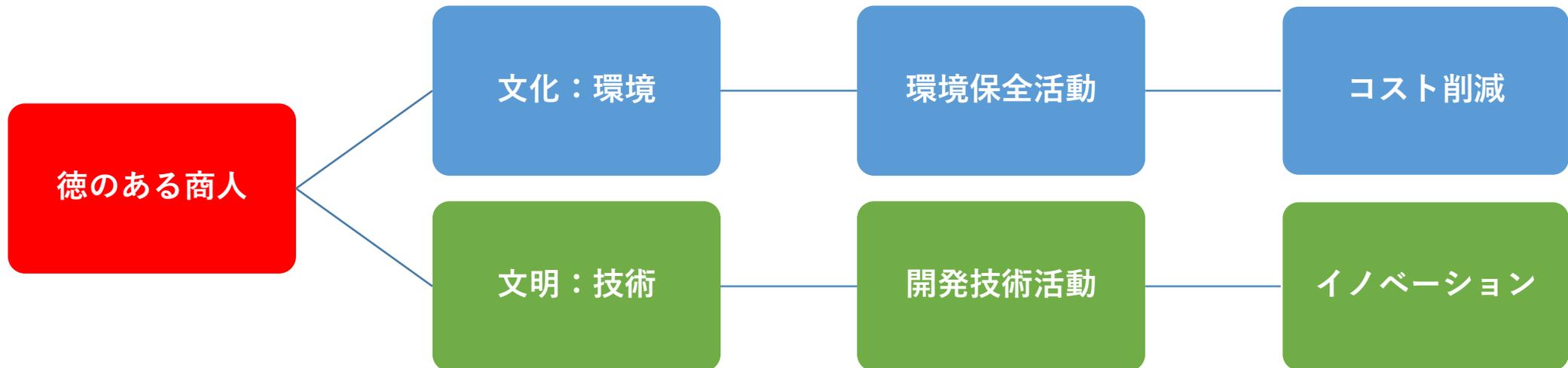
# サンシングループ環境経営への歩み

# 1. 環境経営の基本マインド

\* サンシングループ経営理念

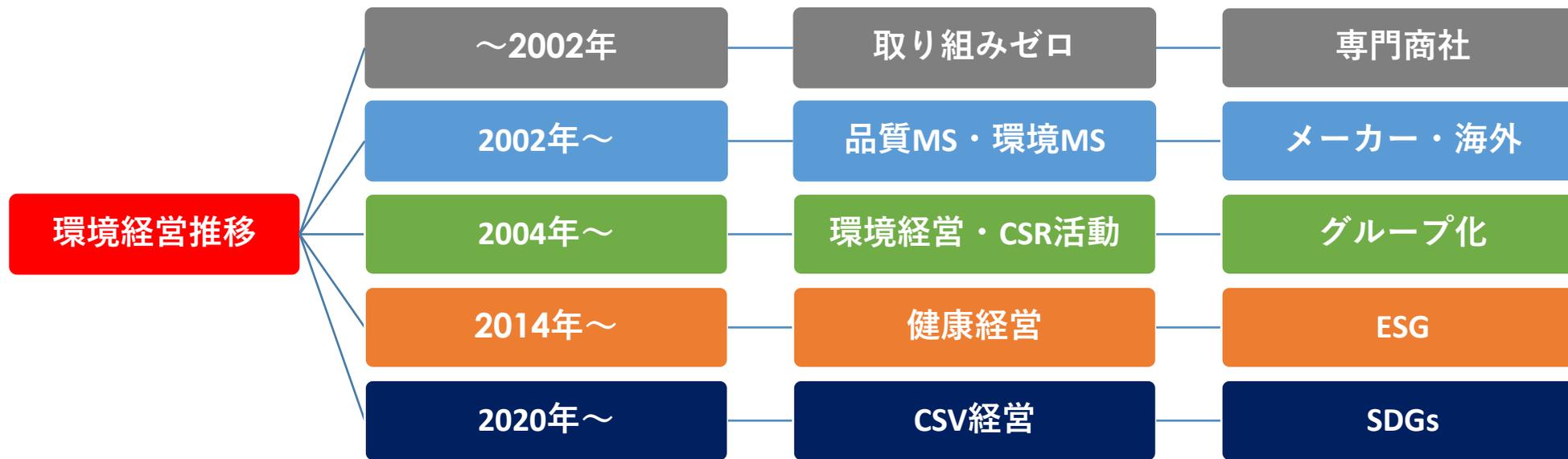
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



## 2. 環境への取り組み

### 2002年から現在までの経緯



## 2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

**健康経営**を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

**CSV経営**を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

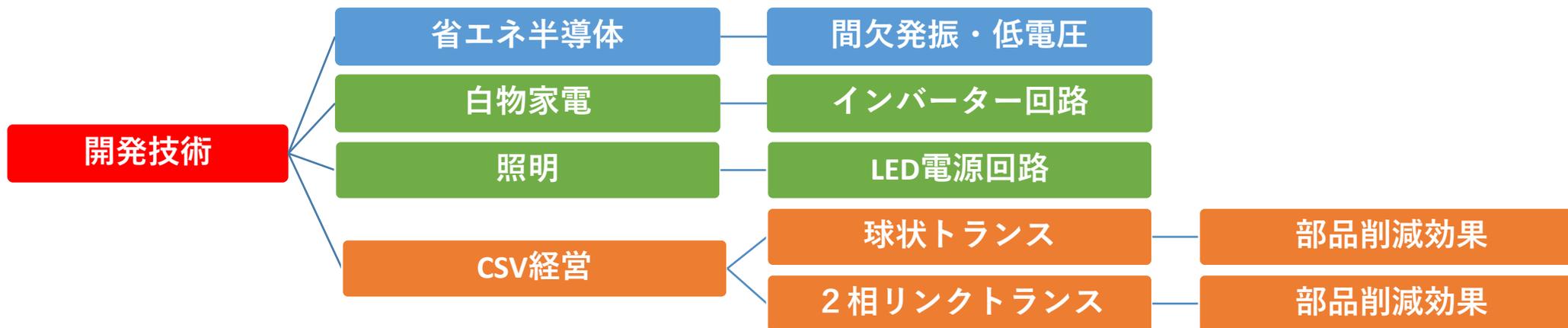
### 3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
  - **テレワーク**による電気/交通費削減
  - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
  - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
  - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

## 4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



## 4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

**LED照明用**の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

**環境とイノベーションを結び付けた技術開発**

**CSV経営 モノ×コト = 価値創造**

## 5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）  
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
  - 4：輸送配送
  - 5：廃棄物
  - 6：出張交通費（旅費除く）
  - 7：従業員交通費

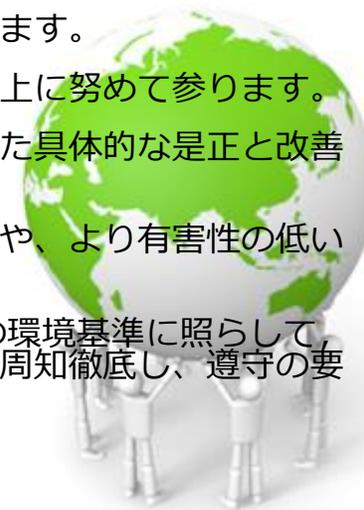
## 6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシンググループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！

# サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。
7. 環境放出化学物質の管理環境中に放出されると害を及ぼすと特定された化学物質については、使用量の削減や、より有害性の低い物質への代替、漏洩の防止などにつとめてまいります。
8. 製品に含まれる有害物質を特定し、「RoHS」等の法規制および「JAMPガイドライン」などの業界と顧客の環境基準に照らして、非含有およびそのための管理体制を遵守します。また、サプライチェーン上流の取引先にもこれらの基準を周知徹底し、遵守の要請を行ってまいります。





# 活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

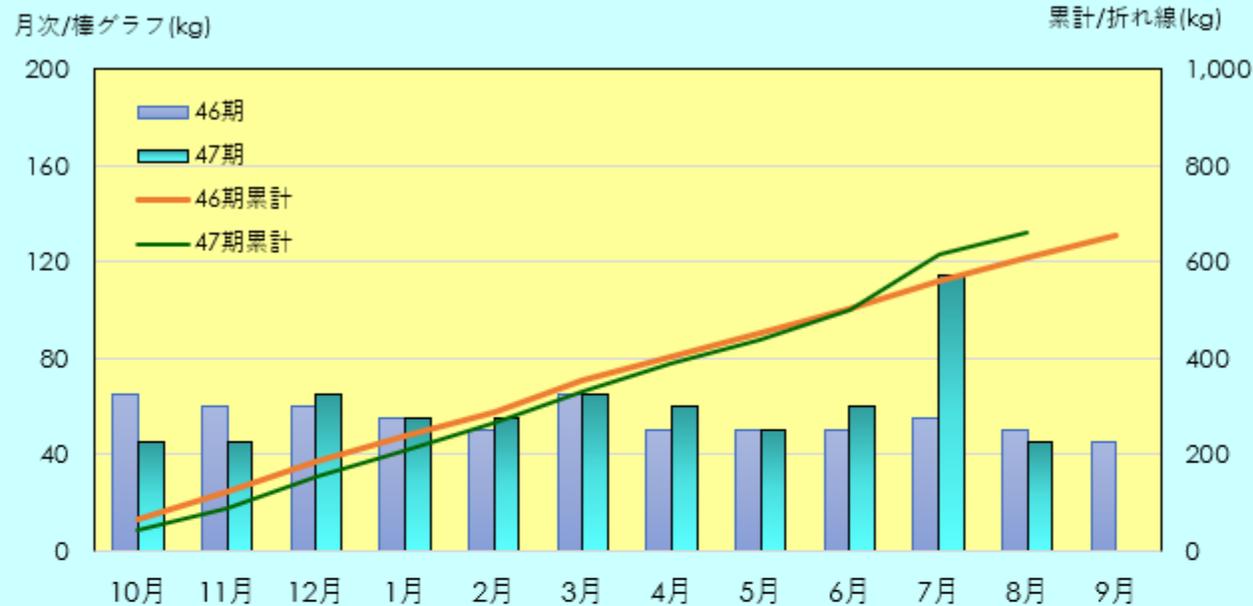
# SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

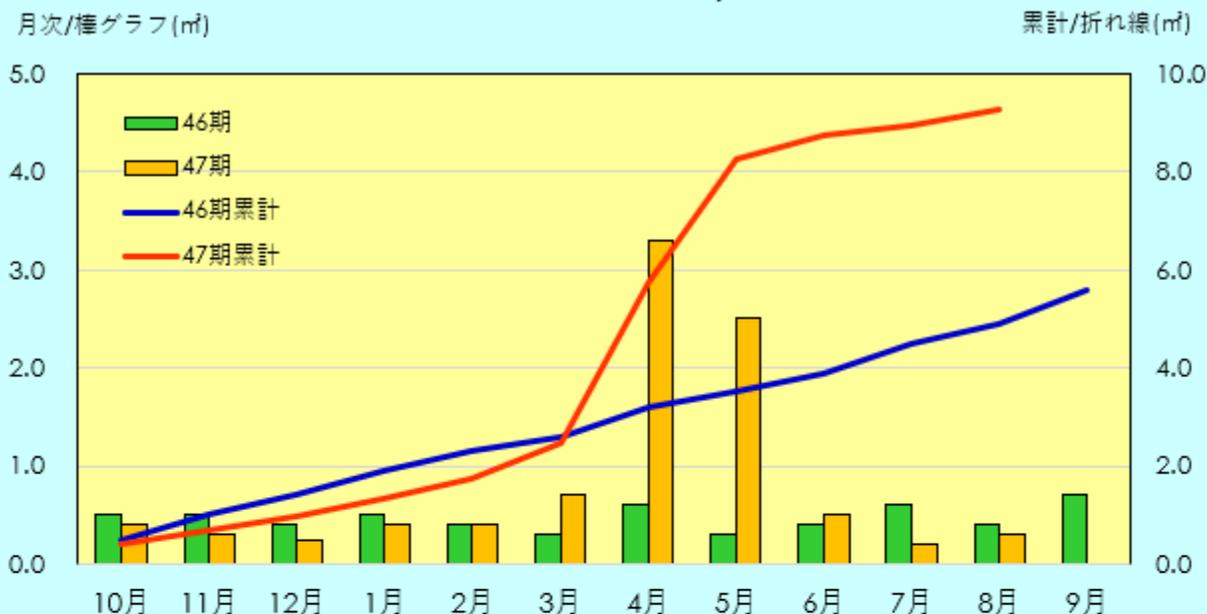
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



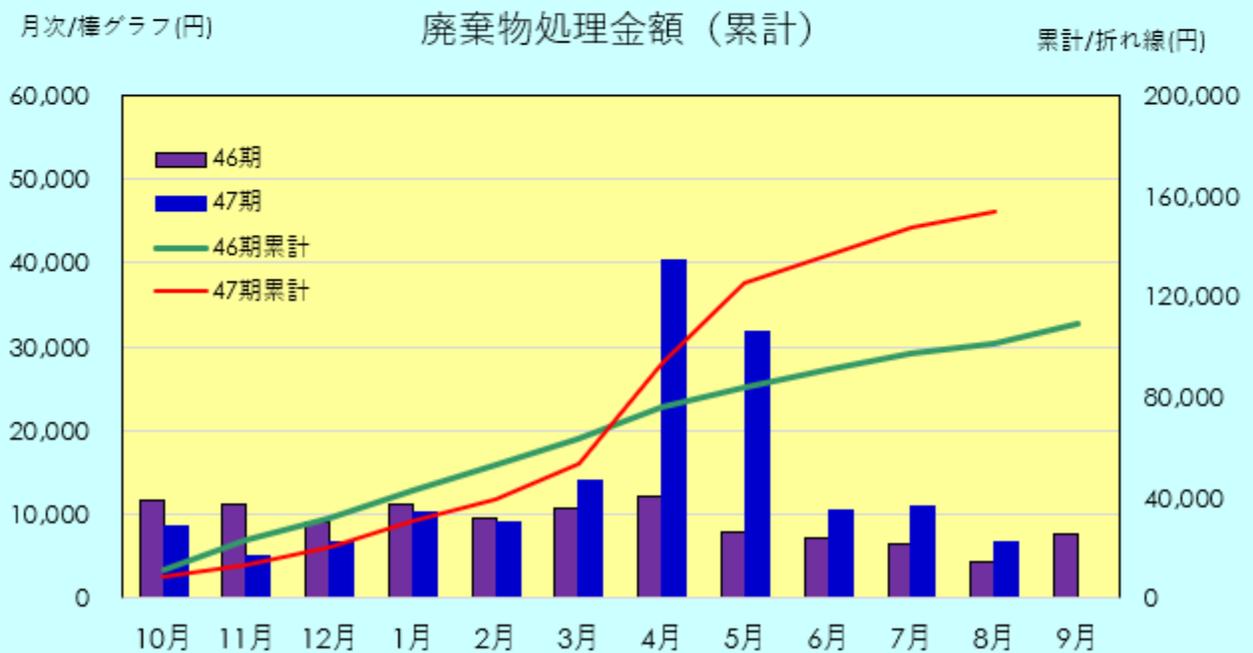
### 一般廃棄物 (SSD/本社)



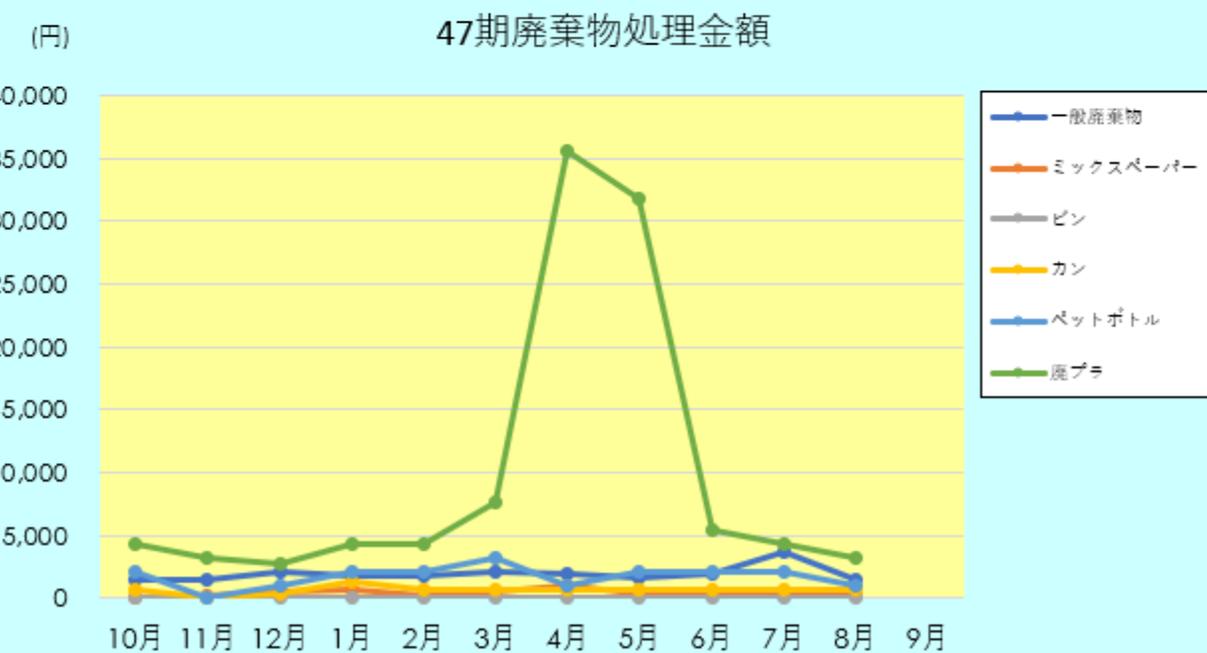
### 一般産業廃棄物 (SSD/本社)



### 廃棄物処理金額 (累計)



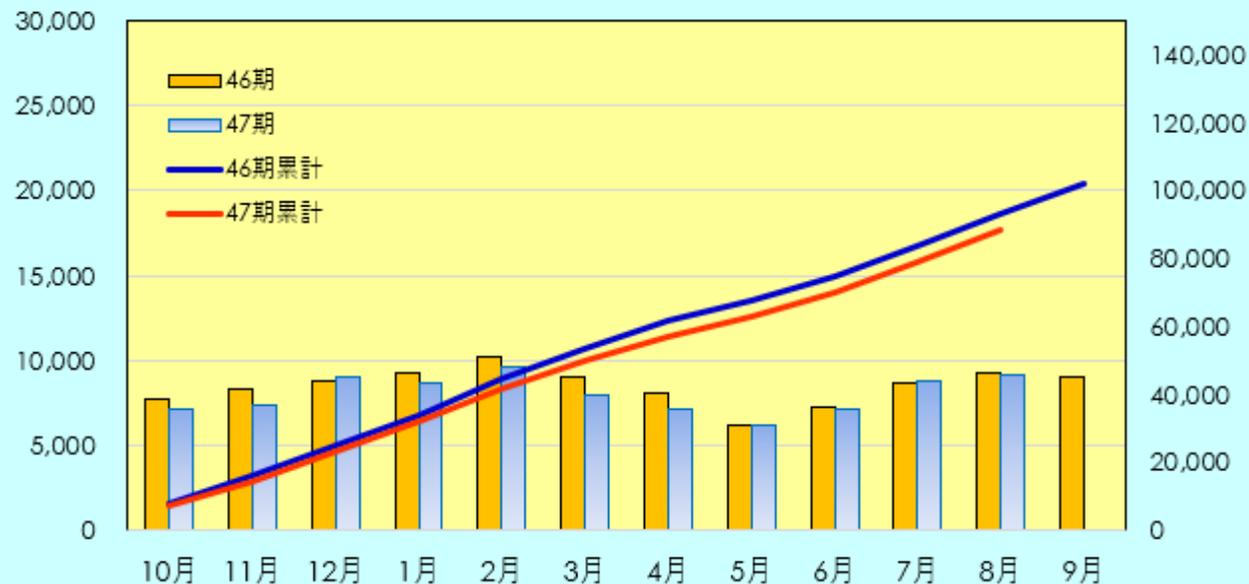
### 47期廃棄物処理金額



### 電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

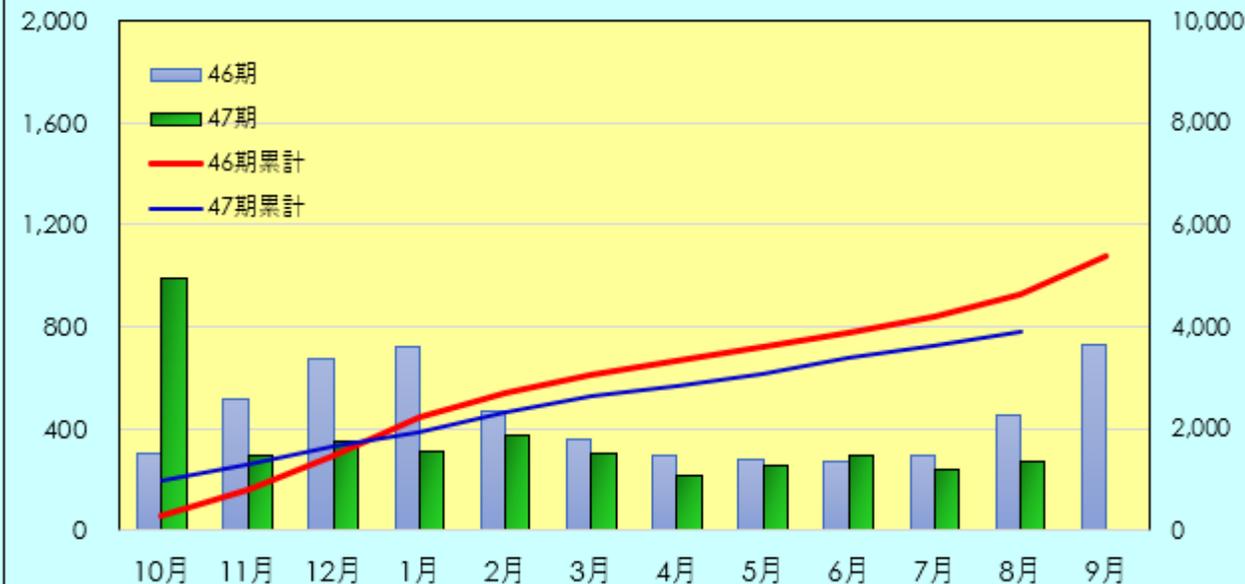
累計/棒折れ線 (kwh)



### 電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

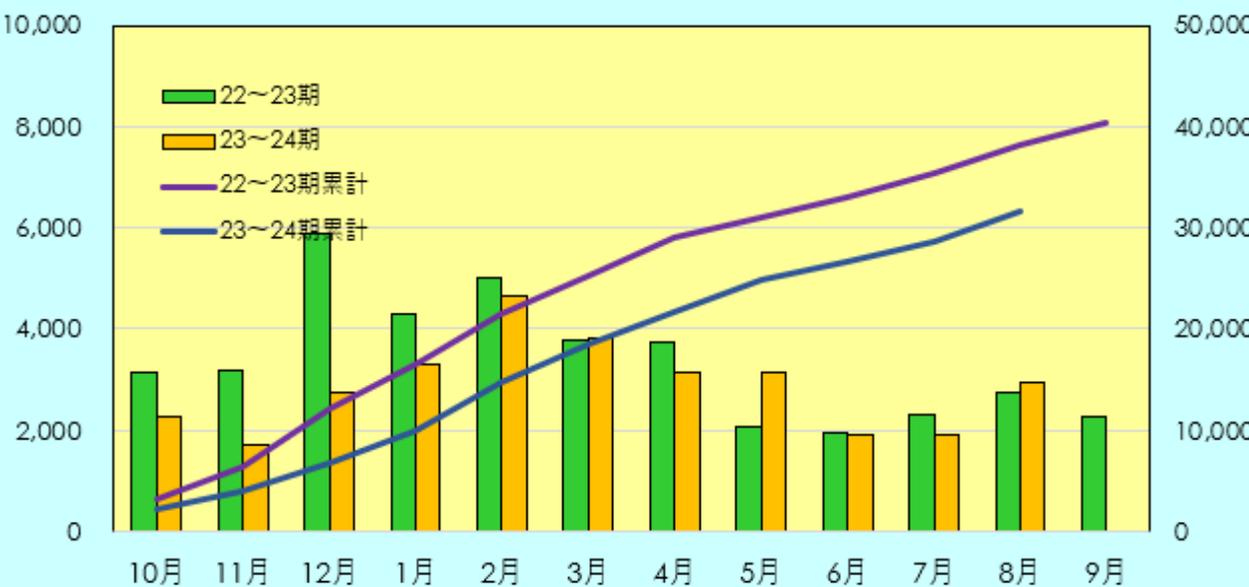
累計/棒折れ線 (kwh)



### 電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

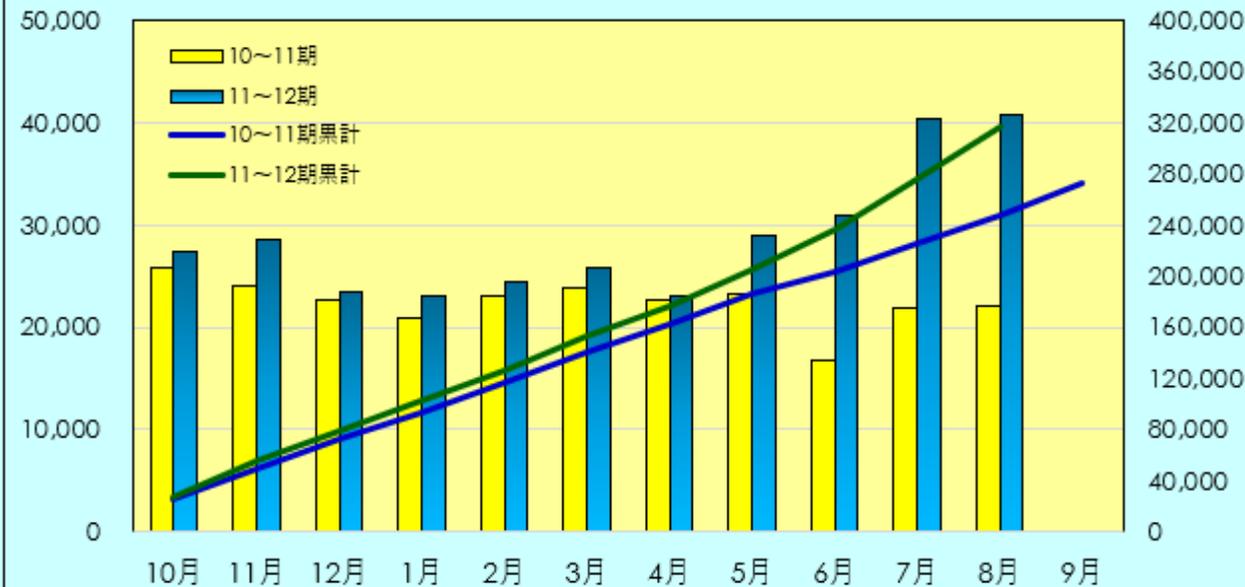
累計/棒折れ線 (kwh)



### 電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



# ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

## 今月のTOPICS

### ●非常時を想定した避難訓練・通信訓練を実施しました！

9月6日にサンシン電気本社にて、地震を想定した避難訓練を実施しました。また、停電・ネットワーク不通の状況を想定し、非常用バッテリーの使用方法説明や、サンシングループ各拠点との衛星通信訓練を行いました。

参加者からは「防災意識が高まった。」「非常時は訓練を思い出して行動したい。」という声がありました。

今後も定期的な訓練を通じて、防災意識の定着と安心して働ける職場づくりに努めてまいります。



# 活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

# 地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（8月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設

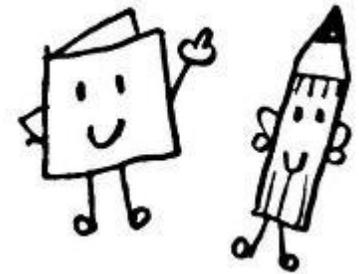


# ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2025年5月更新）⇒10年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

# 人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでTeams配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ EIGYOプログラムによる育成制度を整備しスキルアップを支援
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA/MOT取得や資格取得を積極的に支援
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検、QC検定等の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



# サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,  
We're loved by our customers,  
Always be a Virtuous Merchant  
to contribute to Cultures and  
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

# 経営戦略体系と管理会計のかかわり



# サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

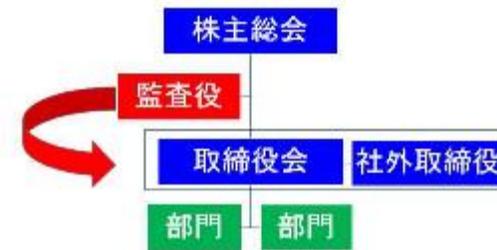
## ■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

## ■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

# サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

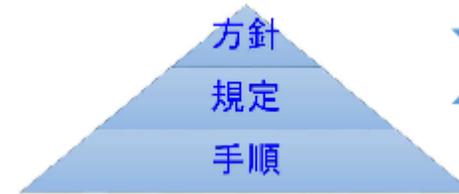
## ■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

## ■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

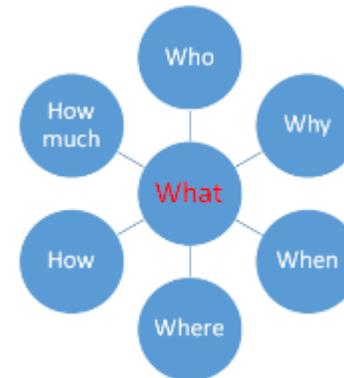


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



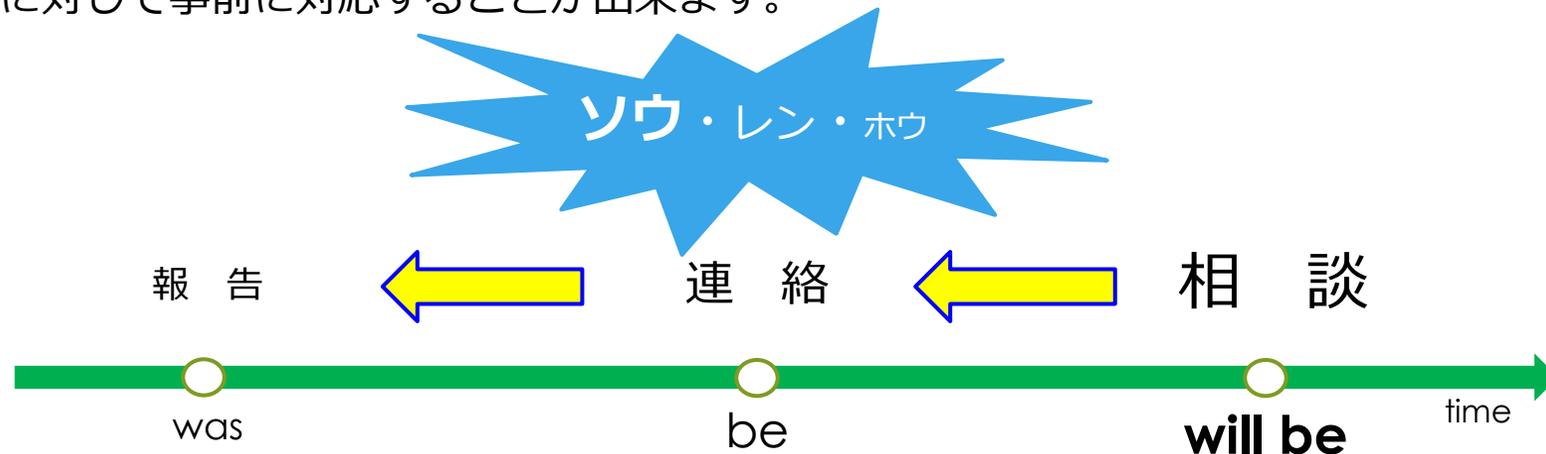
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

# 未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集  
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

あれだけ猛威を振るっていた暑さも急激に収まり、朝晩は肌寒く感じるようになりました。そこで気になる今年の冬ですが、だいぶ寒くなるようです。特に11月頃から急激に冷え込むようですので防寒対策、体調管理注意しましょう。春と秋が短くなったように感じます。実際、夏と冬の二季になる可能性も指摘されているようです。